

## 目次

2015年度春学期 授業改善のための「学生による授 業評価」アンケート実施報告	1
2015年度 春学期開催 全学FD研修会報告	2
2015年度 春学期開催 全学FD研修会報告 今後の全学FD研修会について	3

2015年度春学期 授業改善のための「学生による授業評価」  
アンケート 実施報告

本学における学生による授業評価の取り組みは、1996年度に文学部により「試行」されて以後、学部単位で徐々に拡大、実施されてきました。

2002年度秋学期を期に全学的に実施することになり、2013年度からは担当教員が学生の学習実態を把握し、授業の問題点を抽出して授業にフィードバックできるよう改訂を行いました。

※アンケート内容については、教授会等に諮ったうえで改訂を行っています。

## ◆実施の目的・趣旨

「学生による授業評価」の目的は、授業に対する学生の率直な意見を聞き、学生と教員が協力して「わかりやすく質の高い授業」を作りあげ、教育改革（カリキュラム改革）等を進めていくことにあります。さらに、学生の学習活動に対する自覚と向上を促し、担当教員においては学生の授業への取り組みの結果を受けて、より良い授業とするための検討材料を提供することを目指しています。

## ◆2015年度春学期 実施状況

実施期間：6月29日（月）～7月11日（土）  
 実施率：実施対象科目 678科目中 641科目実施 実施率94.5%  
 回答率：48.6%（回答者数/対象クラス履修者数）  
 所見提出率：43.7%

## ◆集計結果の公開について

科目毎の授業評価をクロス集計した結果のほか、自由記述については全体的に項目毎に分類集計したものを、本学ホームページで公開しています。（学内からのアクセスのみ可能）

2003年度以降は毎年度、春学期、秋学期の学期ごとに実施することとし、その結果を「学生による授業評価報告」としてホームページ上に掲載するとともに、冊子体にまとめ、図書館等に備え学生の自由な閲覧に供しています。

## 2015年度 春学期開催 全学FD研修会報告

### 第1回 可動式机・椅子を使った「アクティブ・ラーニング」体験セミナー

日程：5月27日（水）13：30～14：30

講師：コクヨファニチャー株式会社 TCMバリューユニット TCM営業開発部  
西日本医療教育営業開発グループリーダー 松本 毅 氏

会場：2号館203教室（可動式机・椅子導入教室）

対象：専任教職員、兼任講師、学生

主催：全学FD推進委員会／後援：大学改革推進室／協力：コクヨファニチャー株式会社



2015年3月下旬に、多様化する授業形態への対応と学長方針による「アクティブ・ラーニング」の推進を図るため、2号館、3号館のゼミ教室と聖ヨハネ館3階語学教室の机・椅子について可動式モデルへの入れ替えが行われ、2号館の3教室（2-105、203、204）・3号館の6教室（3-207～209、3-307～309）では、グループ活動の活性化、学生の自主性やコミュニケーションスキルの向上を目的として、可動式の机・椅子に加え、「資料表示」「黒板」「動画再生」の3機能を兼ね備えた70インチの電子黒板が導入されました。

これを受け、今回の研修会は可動式の机・椅子、電子黒板が納入され生まれ変わった2号館の203教室を会場に設定しました。



講師：松本 毅 氏



2号館 203教室

参加者には実際にグループワークを体験し、アクティブ・ラーニングの効果的な活用方法等について全員が共に学びました。

また、今回は学生にも参加してもらい、「学生たちが能動的学習の場を有効に活用するには何が必要か？」についてグループワークを用いて考えました。

☆ ミッションステートメント ☆

『桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育むことを使命とする』

## 2015年度 春学期開催 全学FD研修会報告

### 第2回 「教員のための面接技法～すぐに生かせる理論と方法」

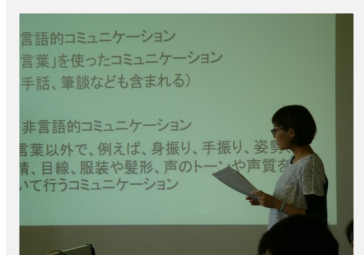
日程：7月27日(月)、29日(水)13:00～14:00 ※2回とも同じ内容

講師：本学キャンパスソーシャルワーカー 野崎千里 氏

会場：聖ヨハネ館2階 多目的室（国際センター・ボランティア活動支援室横）

対象：専任教員、兼任講師

主催：全学FD推進委員会



講師：野崎 千里 氏

かねてより要望が多かった「学生との面談」をテーマに研修会を開催しました。面接についての基礎知識と一般的な技法を紹介し、教員が学生と面談する際の不安や疑問について話し合い、教員としてふまえておくべき面接技法についての理解を深めました。

## 今後の全学FD研修会について

### 第3回 全学FD研修会 障がいのある学生のための「合理的配慮」のあり方について

日程：12月2日(水) 15:00～16:00

講師：社会学部 黒田 隆之准教授、学生支援課 ボランティア活動支援室職員 鳴瀬 剛大 氏

会場：聖ペテロ館5階第4会議室

対象：本学専任教職員、兼任講師

主催：全学FD推進委員会

来年4月より障害者差別解消法が施行されます。

障害者差別解消法では、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような行為、すなわち障害を理由として不当な差別的取扱いをすること、障害のある方から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合に、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮（「合理的配慮」）を行わないことで障害のある方の権利や利益が侵害される場合を差別とし、そうした差別を解消するための措置などについて定めています。

これまでみなさまには、個々にさまざまな配慮を行うよう努力してきていただいたことと存じますが、今後は、個々人の対応のレベルを越えた「大学として」の一貫した対応が求められるようになります。

そこで、どのようなことが差別に該当するのかについての理解を深め、「大学としての合理的配慮のあり方」を含めた対応のあり方を教職員が一緒に考えることにより、課題を共有し、今後に向けての取り組みの方向を確認できればと考え、研修会を開催することとしました。

是非多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

発行日 2015年12月1日

発行 桃山学院大学 全学FD推進委員会 事務局

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

電話：0725(54)3131

FAX：0725(54)3203

電子メール：zfd-momo@andrew.ac.jp